

特定外来生物

緊急対策外来種

重点対策外来種

# オオキンケイギク!

学名 *Coreopsis lanceolata*



道路際のオオキンケイギク

北米原産

多くの種子を散布し

地上に落ちた種子は数年間生き続ける

きょうじん  
強靭な繁殖力



外来生物マニュアル特設ページ（他の外来生物の写真や音声などもご覧いただけます）

## 環境

三浦半島では荒地（造成地・埋立地）に生えることが多く、密生した群落を作ります。砂礫の河原、道路際などにも生え、海岸に進出してしまった海岸特有の植物群落の衰退につながるので注意が必要です。

## 特徴

花は黄色く花弁の先端がギザギザし、葉はへら状です。

## 花期

5～7月

## 生態

多年草で同じ株が毎年発芽し花を咲かせ、多くの種を散布して群落を拡大します。地上に落ちた種子は数年生き続けるので、完全な駆除は困難です。

## 背景

かつては強靭な繁殖力を活用して、斜面の緑化に使用され、観賞用にもされました。

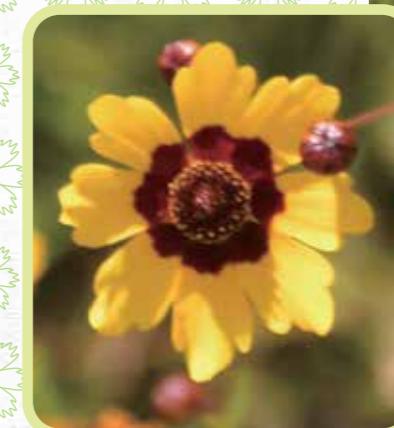
### 似ている植物

#### ハルジャギク

外来種

一年草

オオキンケイギクに似ていますが、花の中心部が紅色です。一年草のためか特定外来種に指定されていません。



#### キバナコスモス

外来種

一年草

毎年種子から生える一年草です。夏から秋に咲き、花弁はオオキンケイギクほどギザギザしていません。葉は春菊のような形です。特定外来種ではありませんが、野生化させないように注意しましょう。



# 駆除の方法



オオキンケイギクの地下茎

オオキンケイギクのような多年草の場合は、刈取りと同時に根こそぎ抜くことが重要です。駆除の時期は、種子を分散する前の初夏が適しています。群落が大きくなる前の対処も重要です。

一年草の場合は、種子を分散する前の時期に刈り取ります。

## ユウゲショウ

外来種  
多年草



## ヘラオオバコ

外来種  
多年草



外来植物が多い荒地

乾燥化した休耕田・放棄した畠などに進出する外来植物

**注意** 可燃ゴミへ。

地下茎や残っていた種子から発芽するので、駆除作業に伴ってこれが逸出しないようにゴミ袋に入れて可燃ゴミへ。

野積みにしたり、粉碎して蒔いたりしてはいけません。

# 外来植物の温床となる荒地

表土が少なく砂礫がむき出しで乾燥しやすい荒地は、在来の草花が生えにくく、劣悪な環境に強い外来植物が育ちやすくなります。オオキンケイギクの他にアレチハナガサ、ヒルザキツキミソウ、ヒメイワダレソウ、シロバナマンテマ、ユウゲショウ、シンテッポウユリ、セイタカアワダチソウ、ヘラオオバコなど多くの外来植物がはびこります。

これらの外来植物は、乾燥化した休耕田や放棄した畠などにも進出し、草原を形成する草花はかつて見られた在来種から外来種へ置き換わりつつあります。

## アレチハナガサ



外来種

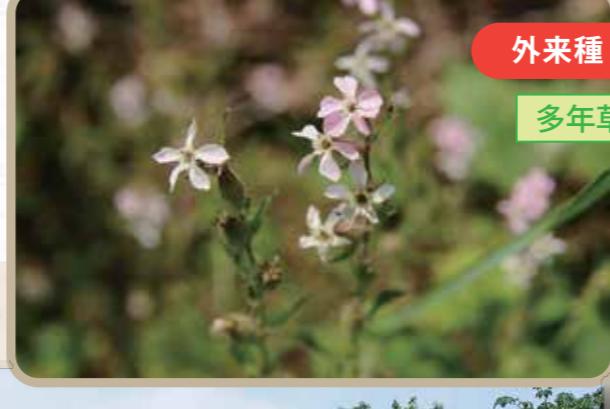
多年草

## ヒルザキツキミソウ

外来種  
多年草



## シロバナマンテマ



外来種  
多年草

## ヒメイワダレソウ

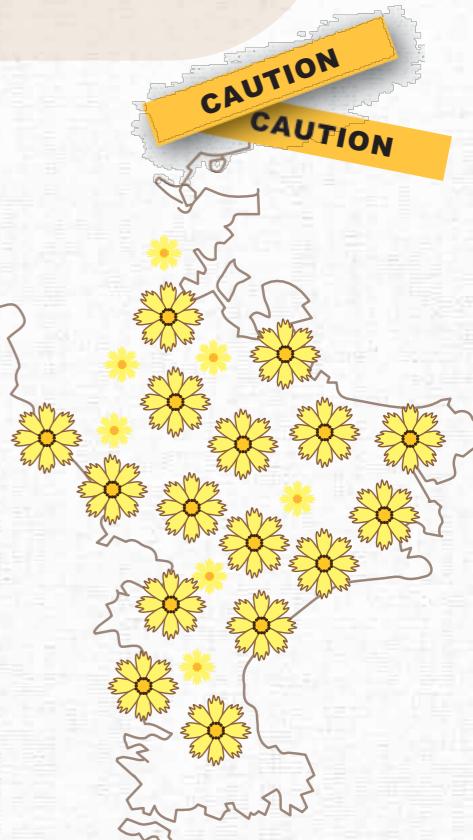


外来種  
多年草

## セイタカアワダチソウ



外来種  
多年草



CAUTION  
CAUTION